

# より良い町政をめざして

一般質問

町長 保育料の無料化については、郡内で過疎地域自立支援促進特別措置法のソフト事業(※1)を活用し



こどもを産み育てる環境づくりを積極的にしていく必要がある。新たな支援対策として、保育料の全額助成、無料化が全世帯において図れないか。



福井源乃介議員

保育料の無料化が図れないか。

町長 必要性や財政への影響等も含めて検討する。

ている事例があるので、実施状況等を参考にしながら必要性や財政への影響等も含めて検討したい。

古い空き家の条例整備を早急にすべきでは。

町長 知名町空き家等の適正管理に関する条例を議案として提出してある。(今議会にて、可決成立)

知名町のPR大使・観光大使の任命を提案し選定委員会も設置されたものの、いまだに実現していないが。

町長 平成23年に知名町観光大使設置要綱を制定。名称を「フローラル大使」に改称。芸能関係者所属事務所から連絡を待っている。

正名の上溜池の整備を早急にすべきでは。

町長 シートの破損部分の補修経費を計上し、平成28年度から「農村地域防災減災事業」を導入して全面改修を計画している。



シートが破れ、土が露出している

プロボクサー(村田諒太)選手の合宿地として本町に誘致すべきではないか。

町長 合宿地の選定条件として①練習施設の充実②気温③宿泊費用の安さ④食事の良さ⑤交通費等がある。練習施設のリングの設置等がかなり厳しい。

住吉字の観光起点施設、高倉や暗川周辺に公衆トイレを設置すべきでは。

町長 11月に区長や関係者と用地確認を行い、来年度の実施協議に向けた要望調書を提出してある。

離島航空運賃の高さが課題である観光も、奄振事業(※2)で来年度から半額以下に軽減され制度化される。観光客や交流人口の拡大も予想されるので、町観光協会に助成金を増額し観光振興を図るべきではないか。

町長 離島航空運賃軽減事業や、奄美・琉球の世界自然遺産登録が実現すれば、観光客等が増え交流人口も拡大する。課題はあるが何らかの手立ては必要と考えている。

## ※1 ソフト事業

一般的には、サービスなどの役割(形として残らない物)を提供する業務をいう。  
↓ハード事業：形として残る「もの」をつくる業務のこと。

## ※2 奄振事業

奄振法 奄美群島振興開発特別措置法。奄美群島の特殊事情(物流コスト・自然環境など)を見込み、開発事業を支援する。広報ちな日24年11月号より日25年2月号にわけて掲載。